



さくら

題字 足立区長 近藤 やい
足立区民生・児童委員協議会だより

発行

足立区民生・児童委員協議会
会長 宮崎 十三
編集 広報委員会
発行日 2016年7月1日
〒120-8510
足立区中央本町1-17-1
TEL 03-3880-5870



千寿本町小4年 大出涼乃 作「大きな木の島」

目次

特 P R 週 集 間	式典・消防	2
	パレード・物販	3
	部会報告	4
	こころの健康フェスティバル	5
	合唱チャリティーコンサート	6
	地区PR活動	7
	社協新旧役員挨拶	8
	編集後記	



ごあいさつ

福祉管理課長
秋山 稔

4月1日付けで、社会福祉協議会地域福祉部長から福祉管理課長に異動となりました。民生・児童委員の皆様には、引き続きよろしくお願いいたします。

現在、区では新基本構想の策定に向けた検討を進めています。この新基本構想では、「協創力でつくる 活力にあふれ 進化し続ける ひと・まち 足立」を区の将来像として掲げ、実現を目指すことにしています。特に、「協働」から「協創」へと、区民、地域、事業者、団体、行政等の関係性をさらに進化させ、互いに役割を果たすことが重要とされています。

福祉部では、これまでも民生・児童委員の皆様と一丸となって地域福祉を推進してきましたが、これからは「協創力」を共に培い取り組んでいくことが大切と考えています。新基本構想の実現に向け、民生・児童委員の皆様には、一層のお力添えをお願いいたします。



お世話になりました♡

監査事務局長
川口 真澄（前福祉管理課長）

福祉部から異動して早3か月。なんだかずいぶんと前のようにも思えます。

民生委員児童委員信条の「公正を旨とし、人格と識見の向上に努めます」を聞くたびに、私はどうだろうか。自分に甘いなど反省しきり。でも、信条の中でもこのフレーズが一番好きです。

「隣人愛」の精神でご自分の身の回りをそれとなく心を注いで来られた皆様。また、ご自分らしく生き活きと毎日を過ごされる皆様と巡り合えたことは、宝物であると思っています。

今年は一斉改選の年でもあり、福祉部から離れてしまうことはさびしくもありますが、これからもどうぞよろしくお願いいたします。



14日 式典並びにさくら感謝状贈呈式



風薫る 5 月 14 日（土）庁舎ホールにおいて、近藤区長をはじめ多くのご来賓が列席され、各地区の民生・児童委員参加のもと、式典が開催されました。

オープニングは、「のこぎりキング」こと、瀏江地区の下田尚保委員による、のこぎり音楽の演奏で始まりました。

宮崎連合会長の主催者代表挨拶に続き、区長より「昨年の東京都の民生・児童委員への相談件数は 56,000 件。小学一年生の生活環境についての調査では、保護者の生活困窮が問題となっている。子どもを育てる環境改善の重要性と、保護者を孤立させないためには、民生・児童委員への相談が肝要である」と述べられました。又、日頃の活動に対しての感謝と、来年の民生委員制度 100 周年に向けて一層の活躍を望まれました。



▲オープニング演奏
下田尚保氏

本紙「さくら」に絵画・俳句を掲載させて頂いた小中学生への感謝状贈呈式。少々緊張の面持ちの小・中学生 9 名に近藤足立区長から感謝状が手渡されました。受け取った子どもたちは、照れたような晴れがましいような表情になり、見守る観客席も微笑ましい気持ちとなりました。

区長を囲んでの写真撮影においては、近藤区長が「一生残るものだからね」とおっしゃりながら、子どもたちの足の位置をなおしたり、姿勢を正しておりま

した。お忙しい方であるにもかかわらず、ゆとりある振る舞いにお人柄を感じました。心温まる贈呈式でした。



▲「さくら」に投稿頂いた皆さんと記念写真



▲赤バイと並んで敬礼！

14日 消防コーナー

今回も消防コーナーでは、ミニ救急車・ミニ消防車計 4 台が子どもたちの人気でした。消防署員と消防団に所属する民生・児童委員 7～8 名の応援をいただき、実際に現場で活躍している赤バイの展示。又、ミニ消防服を着たチビッ子の姿を皆さん和やかに見つめていました。



▲大人気のミニ消防車

今年も5/12の「民生委員児童委員の日」にちなみ、5/9～14の1週間PR事業を行いました。
1週間で約9千人の方にご来場いただきました。



15日 民生・児童委員活動普及・啓発パレード



今回のテーマは「『どうしたの?』ひと声かける思いやり」です。又、民生委員制度100周年、児童委員制度70周年（平成29年）を目前にしたこの機会に、都内1万人の民生・児童委員の存在を広くPRしようと、足立区から

東京都民生・児童委員連合会主催の5回目のパレードが、新宿通りで都内各地から約3,300人の参加で行われました。

今回のテーマは

は例年の3倍以上の120名がバス3台で参加しました。

好天に恵まれ、各市区町村の委員が色とりどりのベスト姿で団扇を手に行進しました。そして四谷交通少年団・日本大学・明治学院大学・東海大学等の吹奏楽演奏がパレードを出迎え、都民の関心を集めました。沿道には、各地区の社会福祉協議会からマスコットキャラクターも加わり、パレードを盛り上げました。

一人で悩んでいる地域住民と、言葉にならないSOSを発する子どもたちに「どうしたの?」と声をかける思いやりが広がればと考えます。



▲昔あそびはたのしいですか?

14日 相馬特産品・野菜販売

今回も10時より相馬市の野菜や特産品、福祉作業所のパン・クッキー・手芸品等、様々な物品が販売されました。物販担当の元気な呼び込みの声にたくさんの方が復興支援と障がい者の自立支援を胸に買い求めていました。



▲温かい気持ちに感謝

9日～14日 相談コーナー

相談コーナーでは生活のお困りごとなどの相談を民生・児童委員がお受けしました。14日には、「子ども相談コーナー」を設け、主任児童委員などがご相談を受けました。相談コーナーでは1週間で44件の相談を受けました。

14日 老い仕度講座

～70歳を過ぎたら、老い仕度を考えよう～

権利擁護センターあだちのアルマルカウイ恵子課長の豊富な経験からなる講座は、会場の片隅にも拘らずとても有意義な40分間でした。

常日頃から万が一の時の為に家族や友人と情報交換しておく事の大切さ、保険証券などは一度取り出して内容を確認しておく等。元気な内に病院だけでなく、各種専門機関に相談する事もできます。権利擁護センターあだちが行なう、足立区独自のサービスもあるそうです。



▲「まずは自分の老い仕度が大事」と言うアルマルカウイ課長



部会・委員会活動報告

5/14 PRメインイベントでは、各部会、委員会が日頃の活動を報告しました。



田中真季子部会長

【子育て支援研究部会】

『子育ての現場を知る』をテーマに里親制度、子どもの貧困について学び、地域の子育てサロン等見学しました。今後も子育ての悩みを気軽に相談できる「おじちゃん・おばちゃん」を目指す所存です。



早川元康部会長

【児童福祉研究部会】

児童養護に関する様々な施設を見学しました。足立児童相談所の虐待相談件数は平成26年度963件に至り、子どもの環境は年々複雑化し対応も困難になっています。さらに相談者に寄り添いたいと思います



遠間道也部会長

【障がい者福祉研究部会】

障がい者施設を見学し講義受講や学習、講演会は障がいを持つ子どもの母親の講演でした。「心を切り刻まれる様な経験を重ね、諦めと共に自らの期待を削り取っていく。」という親の気持ちを知りました。



齋藤敏彦部会長

【生活福祉研究部会】

『生活困窮者の自立支援に向けて～民生・児童委員としてできる支援・協力～』をテーマとして、生活困窮者への関わりや行政・関係機関との連携について、講義・講演会や、施設見学を実施して理解を深めました。



宮田房子部会長

【高齢者福祉研究部会】

高齢者福祉の基礎と具体的な問題の見識を深めるため〈介護保険制度の改正・足立区の介護予防施策・老い支度について〉講義を受け、介護老人保健施設の見学をしました。



野間一夫部長

【コーラス部】

社会福祉の増進に寄与し、会員相互の親睦を図ることを目的として活動しています。今年度は東京都民生・児童委員連合会主催『合唱チャリティーコンサート』に初参加、“五色桜”を発表しました。



小宮謙治委員長

【主任児童委員会】

『小さな声を大きな愛で』をテーマに児童福祉の底辺を支える気概で活動しています。不安や悩み事を抱えるのは子どもたちだけでなくその保護者も感じています。私たちは聞き役になり不安の解消に努めます。



秋本雅信委員長

【広報委員会】

民生委員制度100年、広報紙「さくら」は、皆さんへ足立区民生・児童委員協議会の活動を知らせるとともに、これから100年を歩んでいく上での大切な記録にもなると信じて、全員力を合わせ、楽しく真摯に取り組んでいます。

民生・児童委員 PR実行委員の皆さん（敬称略）



連合会長	宮崎 十三	会長職務代理	小久保 隆
特別顧問	中田 貢弘	実行委員長	野辺 陽子
特別相談役	堀口 勝廣	副実行委員長	市村 智・坂田 誠
アドバイザー	根木島 大雄		

上野 千代子・益子 完治・福田 久子・鈴木 美智子・成瀬 しおり
 鈴木 敏江・岩井 登茂子・吉田 和幸・田中 礼子・川上 重昭
 稲見 フジ子・小張 悦子・加茂 光恭・田口 治雄・茂出木 幸子
 宇田川 幸栄・小山 ケイ子・高橋 良子・國分 道代・小川 玲子
 金宮 和代・中村 英子・遠山廣江・藤野 俊子・畔上 美千代
 首藤 広行・木内 信雄



平成 27 年度 各種表彰受賞者 祝賀会



桜咲く快晴の3月29日、平成27年度足立区民生・児童委員会長協議会主催各種表彰受賞者祝賀会が浅草ビューホテルで開催されました。厚生労働大臣表彰、

全国社会福祉協議会会長表彰、全国民生委員児童委員連合会会長表彰、東京都知事表彰、足立区功労者（社会福祉功労）、東京都社会福祉協議会会長表彰を91名の方々が受賞されました。200名ほどの民生・児童委員と来賓の方々が祝福にかけつけました。

主催者を代表して宮崎連合会長が挨拶、近藤区長からの祝辞に続き、来賓を代表して高山区議会議長、寺田東京都民生・児童委員連合会副会長からも挨拶を頂きました。

受賞者をお一人ずつ紹介した後、壇上で近藤区長を囲み受賞者が各合同毎に記念撮影を行い式典は終了しました。

(18地区 鶴田晴久 記)

第20回 足立区こころの健康フェスティバル

3月5日晴天のもと、区民のこころの健康づくりとこころの病に対する知識と理解を深めるためのイベント「第20回 足立区こころの健康フェスティバル」が開催されました。

開会式は、区立第十一中学校吹奏楽部40名による、若さ溢れる軽快な「ちびまる子ちゃんメドレー」で始まり、会場は大きな拍手に包まれました。

近藤区長の挨拶のあと、特別講演「20年の歩みをふり返って」と題して大高衛生部長から、ご自身の体験を交えてお話がありました。認知症など誰もが障がいになりえる社会が到来しました。障がいを理解してもらうために当事者の努力も必要だが、周囲も理解しようとする考え方や具体的行動が必要となってくるのではないかとのことでした。

1階アトリウムでは、参加団体による多数の出店がありました。民生・児童委員協議会はバザー出店で

参加しました。実行委員の方々は、バザー用品集めに苦労されたとのことですが、来場者の長い行列が出来、賑わうのを見て、皆、顔が生き生きとしていました。売上金・募金608,781円は、社会福祉協議会に寄付され、精神保健福祉の増進のために使われます。

(7地区 志賀口博人 記)



▲大高衛生部長の講演に思わず目頭が熱くなりました

100周年記念誌編集委員会へ 情報をお寄せください

平成29年に民生委員制度100周年・児童委員制度70周年を迎えます。それに合わせ、足立区民生・児童委員協議会では、100周年記念誌を編纂いたします。足立区の方面委員、民生・児童委員の歴史に関わる資料（写真、記念品など）をお持ちの方がいらっしゃいましたら、福祉管理課民生係（3880-5870）へご連絡ください。





コンサートが開催され、東京都民生・児童委員連合会（都民連）の21組のコーラス部が参加しました。

足立区のコーラス部「葦立コール『絆』」は初参加。『混声合唱組曲 五色桜』を披露しました。会場では、東日本大震災子ども応援募金への支援を募っていました。

冒頭、福田豊術都民連会長より挨拶がありました。

2月24日（水）文京シビック大ホールにおいて第3回東京都民生委員・児童委員合唱チャリティー

これまで4回にわたり取りまとめた募金を、岩手・宮城・福島の支援窓口に届け、被災地を視察し、その地区の民生・児童委員協議会と懇談しています。昨年、女川町の民生・児童委員の皆様と交流した際、明るく美しく建て直されたJR女川駅おながわにも感激しましたが、バスの車窓から当時小学6年生の女子児童の考えた「女川は流されたのではなく、新しい女川に生まれ変わるんだ。人々は負けずに待ち続けている。新しい女川に住む喜びを感じるために」と書かれた横断幕が見え、現地の民生・児童委員の皆様の活躍と合わせ、こちらが励まされる思いだったそうです。

（6地区 田中礼子 記）

第27回足立区ボランティアまつり

5/8（日）足立区役所

「どうぞ。もう終わりましたから。」そう声をかけてくれた方の手許には、描き上がったばかりのやさしい淡い色あいの絵手紙がありました。大人に混じって、子どもさんも筆を持ち絵に挑戦していました。

会場では他にも、車イス・手話・アイマスク・点字・音訳の体験が出来、多くの人が興味を持って取り組んでいる様子でした。

また、ダンスや演奏などの舞台発表や模擬店、自主製品販売で区内の42団体が参加していました。その中で民生・児童委員協議会は相談コーナーとパネル展示を行い、アンケートの協力を呼びかけていました。

五月晴れのゴールデンウィーク最終日ということで多数の来場者があり、様々なふれあいを目にした催しでした。

（広報委員会 記）

ぶらり足立 千住旭町 学園通り

千住旭町商店街副理事長（常東地区宮本会長）

にインタビューいたしました。

東京電機大学誘致後の街の変化については、北千住駅東口の景観が一番変わりました。堀に囲まれた日本たばこ産業社宅跡地が東京電機大学の移転により、電大口となりとても明るくなりました。5,000人の学生と職員の方々に来街していただいております。



商店街への影響は多大で、今までにないスピードで商店の新旧交代が進んでいます。当然ながら学生向け

の店が増えています。

毎年2月に行われる商店街主催の賀詞交歓会、9月に行われる学園通りフェアには、町会・消防庁・税務署・学校（千寿常東小学校、千寿桜堤中学校、足立学園、東京電機大学）に参加していただいております。また、電機大学旭祭の開催、商店街に掲げる飾り旗（フラッグ）のデザインを学生に依頼して連携をはかっています。

今後も、商店街の活性化と電大口のイメージアップに欠かせない、東京電機大学との連携を継続して行い、より良い商店街に発展していくように努力していきたい。というお話でした。

（常東地区 齋藤祐子 記）



高野小まつりに参加して

—民生・児童委員 PR ブースを作りました—

(平成 27 年 9 月 26 日)



▲ブースの準備万端。来場者をお出迎え

前日から雨が降っていて、当日は体育館にて行われました。以前より、入学式・卒業式、その他に運動会・学芸会・音楽会など大きな行事には参加していました。

しかし、民生・児童委員としてどんな活動をしているか知って頂きたく、PR 活動として初めて相談窓口を設けました。

パンフレットとポケットティッシュなどを配り、またタオルと輪ゴムを使って「くまさん」作りや、折り紙で「コマ」作りなど楽しいひと時を送りました。5 年生、6 年生によるブラスバンド、各学年による模擬店など PTA や先生方の参加で盛り上がりました。地域との交流の場にもなりました。

多くの方々のご協力を頂きまして PR 活動ができ、感謝申し上げます。

(13 地区副会長 中村すみ子 記)

中学生短歌コーナー

新しい仲間とともに新学期迎える春は心おどるよ

二年 中村 未優

河川敷五月の空を見上げて期待や夢に胸ふくらませ

二年 小高萌々香

大会の負けてくやしい帰り道とても静かな一人の時間

二年 鶴巻 樺乃

シャカシャカと抹茶を点てるその音は耳で感じるお茶のおいしさ

二年 古川 翔太

制服がなじんできたよ二年生ぶかぶかだった昨年の春

二年 稲吉 真宏

大会の決勝戦でくやし泣き一つの涙次への一歩

二年 星野 美麗

何気ない登下校の道端も春には一面桜色の道

二年 藤久保 冬

戸を開けて一歩踏み出す一瞬が新学期へのあいさつとなる

二年 野村 華楓

足立区立千寿桜堤中学校



千寿双葉小 2 年
佐藤香桜
「わらっているわたし」



社会福祉協議会 新旧挨拶



常務理事 青木 光夫

昨年3月に教育長を退任し本年4月より現職を務めさせていただいております。地域福祉の更なる充実のため高齢福祉はもとより福祉と教育の連携にも力を尽くしたいと思います。民生・児童委員の皆様にはどうぞよろしくお願いいたします。



前常務理事 有賀 純三

足立社協の常務理事を退任いたしました。足立区の民生・児童委員の皆様の温かさが身に沁みた5年間でした。頼りになる方々がこんなにたくさんおられることは、足立区の誇りです。お世話になりました。ありがとうございました。



事務局長 儘田 政弘

この4月に、社会福祉協議会の事務局長に就任させていただきました。

昭和54年4月足立区に奉職、納税課を皮切りに様々な職場を経験し、最後は資産管理部長として37年間務めることができました。この間、管理職として最初の職場である西部福祉事務所と10年前の障害福祉センターでの福祉現場は、強く心に残っています。

再び民生・児童委員の皆様と仕事ができることになりました。全力を尽くします。



前事務局長 日比谷 松夫

今年の3月に足立区を定年退職し、4月からは綾瀬の足立区勤労福祉サービスセンターで、働いております。

2年間の社協在職中は、中田社協会長、宮崎連合会長を始め、民生・児童委員の皆様には、大変お世話になりました。

今後もライフワークである「児童福祉」の勉強をしていきたいと思っています。

<訃報> 第五合同 鹿浜地区広報委員 久保 幸子(クボ サチコ) 委員 逝去 ここに謹んで哀悼の意を表します。

編集後記

広報委員になり、早や2年半が過ぎようとしています。何も解らずに回りの方々の後をついて行く頃から少しも進歩せず現在に至っています。

月一度の編集会議では、顔を合わす機会の少ない

他合同の方の話が聞け、色々な事を知る場となっています。このような環境が「さくら」を作り上げる力となっています。

(江新地区 福原稔 記)

○小学生掲載絵画および中学生詩歌、俳句の依頼は、

第一合同から第七合同の小・中学校に順番にお願いしております。

○皆様の原稿を募集いたします(原稿は未発表のものに限ります)。次号発行予定日 11月1日

原稿に関しては紙面の都合がございます。事前に地区広報委員にご相談ください。

広報委員会

委員長

秋本 雅信

副委員長

数下 奈穂美

書記

鶴田 晴久

会計

金子 みどり

編集

小島 千恵子

レイアウト

木内 信雄

校正

江川 明美

編集委員

齋藤 祐子

山崎 秀夫

田中 礼子

渡辺 進子

櫻井 春子

福原 潤子

坂井 穂子

丸山 まさ子

鈴木 恒雄

校正委員

秋葉 千秋

山本 滝子

志賀 口博人

森 葉子

久保 幸子

福岡 佳須子

戸張 光子

西野 いちよ

高橋 和枝